



笠縫学区まちづくり協議会

リーフかさぬい

笠縫学区人口（5月31日現在）
男性/5,452人 女性/5,772人
世帯数/4,892世帯

発行：笠縫学区まちづくり協議会
連絡先：笠縫まちづくりセンター

TEL・FAX：077-562-0071
Eメール：kasanui@machikyou.jp

website：http://www.machikyou.jp/kasanui/



まち協HP



公式LINE

みんなが主役 いきいきつながるまち 笠縫

Let's 笠縫! Motto 笠縫! 笠縫ツナガリ隊

主催：笠縫ツナガリ隊

場所：笠っ子アドベンチャーパーク(KAP)

5月22日
(月)

サツマイモ苗植え

地域協働合校として笠縫小学校2年生と サツマイモの苗植え体験をしました。

毎年恒例となっているこの体験、サツマイモってどこからきたの?どんな種類があるの?どうやって植えるの?といったサツマイモの歴史や植え方などの豆知識を子どもたちに伝えました。そして、子どもたちの一番の楽しみはやっぱり苗植え!今年は「紅はるか」をみんなで植えました。初めて経験する子どもたちも多く、ワイワイ楽しそうにしている姿をたくさん見ることが出来ました。

これから秋の収穫に向けてこれからしっかり育てていきます。また、秋に成長した子どもたちと一緒に楽しくサツマイモの収穫体験ができればと思います。



令和5年度 笠縫学区まちづくり協議会定期総会

5月27日(土)笠縫まちづくりセンター大会議室において、令和5年度笠縫学区まちづくり協議会定期総会を開催しました。当日は、議決権を有する対象者数57名中、委任状を含め53名出席のもと、提出案件5件について審議され、すべて原案通り可決承認されました。

詳細につきましては、本紙3～4ページ及び
まちづくり協議会のホームページに掲載しています。

<http://www.machikyou.jp/kasanui/com/>

【総会で承認された議案】

- 第1号議案 令和4年度事業実績報告
- 第2号議案 令和4年度収支決算報告および監査報告
- 第3号議案 第2次笠縫学区まちづくり計画
- 第4号議案 令和5年度事業計画
- 第5号議案 令和5年度収支予算



まち協HP

人権視察研修

6月4日(日)

主催：笠縫学区人権推進協議会
場所：堺市立人権ふれあいセンター・舳松人権歴史館



笠縫学区人権推進協議会の今年度の現地視察研修を行いました。コロナ禍で中止が続いており、久方ぶりの開催でしたが、28名の参加がありました。研修先は昨年の学区総括研修会で講演いただいた大原和子さんの活動拠点である、堺市舳松（へのまつ）人権歴史館です。館員の方より、この地区の歴史や住んでいる方々の厳しい生活環境の話や、改めて同和問題の根深さを感じました。その後、館内の展示物を見て、「差別をなくそう」「自分は差別をしない」という、同和問題の原点を思い起こさせてくれた有意義な研修となりました。

第1回 担い手研修会

6月3日(土)

主催：地域福祉部会
場所：笠縫まちづくりセンター



市社会福祉協議会より講師を招き、地域の福祉委員、各町内会長、民生委員・児童委員の65名が集い、担い手研修会を開催しました。

とりまく社会情勢や、進むデジタル化により、私たちの暮らしは孤立しやすい状況にあります。そうした地域の中で、福祉委員は「気づく・受け止める・つなぐ・つながる」という4つの視点での活動が大切であること。また、ご近所さんとの立ち話やあいさつも身近な活動であることを学びました。

今回の学びを基に、今後身近な地域福祉活動をすることで気付いたことや、知り得た地域活動を次回の研修で話し合うこととなっています。

第1回 リフレッシュ体操

6月3日(土)

主催/場所：笠縫まちづくりセンター



今年度も、健康運動指導士の中原今日子さんを講師にお迎えし、『心も身体もリフレッシュ!』をテーマに、全5回連続体操講座を開催しました。

第1回目は23名の参加者が、椅子に座ったまま出来る簡単なストレッチや、コロナ禍で低下している筋力をアップするための身体の動かし方を学びました。終了10分前には少し早いテンポの音楽に合わせて、先生の軽快なトークとともに、両手両足を元気いっぱい動かし、楽しく受講しました。



皆様こんにちは、地域コーディネーターは学校の「地域協働校」担当の先生と協力し、身近な地域にある様々な教育資源（環境・文化・産業）やふるさと学習を支援いただける人材を発掘し、

地域協働校の推進・充実に向け、「地域・家庭・学校をつなぐ架け橋の役割」を担っています。

地域の課題や学校の教育課題を共有しながら、地域の支援者との連絡調整を取り、実情に合わせて定期的・継続的な活動プログラムを計画しています。様々な体験学習や地域の皆様とのふれあいを通して、子ども達が地域の良さに触れ、地域を誇りに思う気持ちを育むことをめざしています。

まちづくり協議会をはじめ、各種団体の皆様、地域社会の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

笠縫小学校地域コーディネーター：小寺厚子、小寺栄子
松原中学校地域コーディネーター：杉江由紀子



笠縫学区の皆様には、日頃より当まちづくり協議会の事業にご理解とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この3年間、新型コロナウイルス感染症拡大に際しましては、外出の自粛や常にマスクの着用等、生活環境が大きく変化し住みにくい日々でございました。

当まちづくり協議会におきましても会議の縮小、事業の自粛等、影響がございましたが、皆様のお力添えにより、おかげさまで一定の成果を得ることができました。

そして今年度より、第2次笠縫学区まちづくり計画が新しくスタートとなりますが、まちづくり計画策定委員会では、地域の皆様方のアンケート調査を参考に、あるいは過去の事業結果を振り返り、これを検証しつつ策定いたしました。まちの将来像として、「みんなが主役 いきいきつながるまち 笠縫」を掲



笠縫学区まちづくり協議会
会長 永原 光一

げております。

事業におきましては、住民が参加しやすい工夫をして種々開催を予定しております。老若を問わず沢山の方々にご参加いただき、またシニアから次世代にスムーズにつなぐ等、誰もがまちづくりに関わって良かったと思える、前を見据えた第2次笠縫学区まちづくり計画といたしました。

これを遂行するには地域の皆様方のご協力が必要でございます。

どうぞお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



◇令和5年度◇

笠縫学区
まちづくり協議会役員

役職名	氏名
会長	永原 光一
副会長	山元 謙治
副会長	堀田 茂
副会長	堀井 光洋
副会長	松村 幸子
会計	小森 健司
監事	山元 憲司
監事	笹川 重雄

専門部会長

役職名	氏名
情報発信部会長	大橋 邦夫
地域福祉部会長	望月 雅治
文化・健康・スポーツ部会長	森 俊一
子ども育成部会長	三反田 悠
地域安全部会長	油布 輝義

◇令和5年度◇

笠縫学区自治連合会
町内会長一覧(敬称略)

会長	松村 幸子
副会長	吉田 英樹
副会長	山田 弘司
上笠町第一	宮城 昌實
上笠町第二	東浦 彰
上笠町第三	仲野 忠克
上笠町第四	児堂 隆徳
上笠町第五	藤原 健司
上笠町第八	吉田 英樹
O・Hプラザ草津	大畠 政博
笠縫団地	池永 正勝
野村西町	吉川 憲治
野村南町	足立 栄一
丸ノ内町	松村 幸子
野村中央町	下出 篤
下笠町馬場	中島 寿一
下笠町下出	井上 義清
下笠町井之元	鎌田 純有
下笠町市場	宇野 勝己
下笠町北出	大西 清和
下笠町寺内	横井 彰
下笠町南出	山元 勝善
下笠町小屋場	山田 弘司
下笠町浜	長谷川 修
下笠町松原	中嶋 亀一
松陽台	中村 文博
ユートピアタウン下笠	金田 昂幸

令和4年度 主な事業実績

(重点事業)

- 地区防災計画を基に被害状況報告訓練を実施
- 笠縫ツナガリ隊での、次世代が地域に関わりやすい体制を考える(さつまいも苗植え・さつまいも/えだまめ収穫体験、健康ワークショップ)
- 第2次笠縫学区まちづくり計画(令和5年~9年度)策定(学区住民アンケート実施)

(その他の事業)

- ・ ふれあい広場 2022
- ・ 町内学習懇談会
- ・ 70歳以上一人住まいの方訪問(民児協共催)
- ・ かさぬい☆わんぱくっ子(社会見学・体験事業)
- ・ 防災研修会(ワークショップ)
- ・ かわら版かさぬい健康フェスタ第3号発行
- ・ 笠縫まちづくりセンターの運営・管理

令和4年度 決算・令和5年度 予算

令和4年度 決算

【単位：円】

収入	交付金及び補助金	8,509,000
	その他収入	2,086,810
	R3繰越金	3,404,575
収入合計		14,000,385

支出	まち協運営費	5,348,564
	町内会活動費	442,648
	専門部会費	6,103,977
支出合計		11,895,189

繰越金(A)	2,105,196
--------	-----------

指定管理料(まちづくりセンター維持管理決算)

収入(指定管理料 他)	19,921,377
支出(人件費・委託費 他)	19,141,297

繰越金(B)	780,080
--------	---------

令和5年度 予算

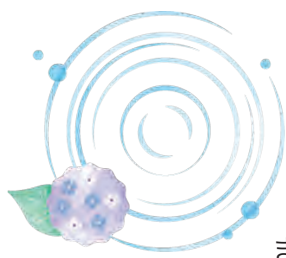
【単位：円】

収入	交付金及び補助金	8,280,000
	その他収入	2,066,000
	R4繰越金(A+B)	2,885,276
収入合計		13,231,276

支出	まち協運営費	4,576,276
	町内会活動費	724,000
	専門部会費	7,931,000
支出合計		13,231,276

指定管理料(まちづくりセンター維持管理予算)

収入(指定管理料 他)	19,653,000
支出(人件費・委託費 他)	19,653,000



詳細な資料は、まちづくり協議会ホームページに掲載しています。



まち協HP

<http://www.machikyou.jp/kasanui/com/>

令和5年度 重点事業計画

● 地区防災計画の運用と実施

笠縫学区「地区防災計画(令和元年策定)」を基に、昨年に引き続き防災訓練等の実施、検証、計画の見直しを行い、学区民の防災に対する意識と非常時の対応力の向上を図り、誰一人取り残さない防災体制の確立に取り組みます。

● 次世代につなげるまちづくり事業の展開

「笠縫ツナガリ隊」を中心に、「人から人へ 人と人をつなげる」まちづくりに取り組みます。次世代の人達が、地元の先輩達から地域の様々なことを学びながら、地域の事業や活動に、楽しんで関わっていただける活動を展開します。

令和5年度 主な事業計画

- 笠縫学区ふれあい広場2023
- 市長とまちづくりトーク
- 地域課題解決事業(防災対策委員会・笠縫ツナガリ隊)
- 地域医療と福祉を考える会議
- 健康のまちづくり推進事業
- 笠縫学区人権推進協議会

● 自治連合会

敬老事業(各町内会)、ふれあい広場参画・運営支援、まち協各事業支援、環境整備事業 他

● 情報発信部会

「リーフかさぬい」発行、まち協ホームページ更新・公式LINE運用 他

● 地域福祉部会

福祉活動担い手研修会、小学校とまち協との交流会、70歳以上一人住まいの方への支援、地域サロン交流会、敬老事業支援 他

● 文化・健康・スポーツ部会

歩こう会、ニュースポーツ普及啓発、健康啓発講座、グラウンドゴルフ大会、チャレンジスポーツ 他

● 子ども育成部会

あいさつ運動、すこやかセミナー、かさぬい☆わんぱくっ子(体験事業・バス研修・もちつき体験) 他

● 地域安全部会

ふれあいパトロール、高齢者の交通マナー研修会、こども110番の家、防災研修会、防犯街頭啓発、防犯研修会、笠縫みまもり隊 他

● かさぬいカフェ

● まちづくりセンター事業

センター運営・管理、やすらぎ学級、人権講座、体操講座、カルチャー講座 他

昭和30～40年頃は、テレビのある家も少なく、夏場の屋外映写会で映画を見ることが楽しみの一つでした。そのころの様子を地域の方にお聞きました。

Q. どんな映写会？

夏休みの小学校校庭や河川敷にスクリーンを張って、大きなフィルム・リールの映写機で映していました。今ならDVDとプロジェクターで簡単に見ることが出来ますが、当時は、資格を持った映写技師が操作する大掛かりな装置でした。

映画内容は、あいまいになってきましたが、チャンバラや漫画映画だったと思います。大きな画面、大きな音量はよく覚えていて大迫力でした。

一緒に行った友だちと大きな声で話したり、笑ったりで夏休みの楽しい思い出です。

Q. では、テレビはいつ頃から？

昭和に開催された東京オリンピック（1964年）前後が、各家庭にテレビが普及した頃だと思いますが、それまでは、テレビのある家庭に見てもらいに行くのが普通でした。男の子はプロレスなど見に行きました。その家のお父さんも居るので、固くなって「借りてきた猫」状態で、見ていました。

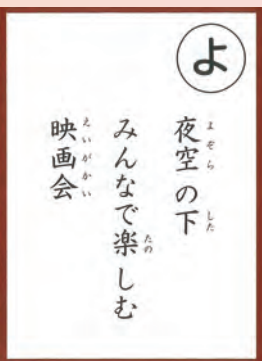
※このころは、ブラウン管式の白黒テレビで、リモコンは有りませんでした。



※インタビューの感想

夏の映写会は地域娯楽であると同時に、地域交流の場だったように感じました。

屋外なのでやぶ蚊を払いながらの様子が頭をよぎり笑いをこらえました。



＝映写会、蚊取り線香、香漂う（番外）＝

まちづくりセンターの自主教室紹介

笠縫手話サークルを訪問しました。

Q. 現在は何名ですか？

10名+手話講師1名で活動しています。

Q. どのような活動でしょう？

初心者の方も無理なく手話が学べるよう、会話以外にも手話ソング、文章の手話表現、手のひらに書く指文字など工夫して進めています。

なにより、無理なく楽しみながらコミュニケーションできることを心がけています。

※写真は、「I Love You」を表現しています。



笠縫手話サークルではサークル員を随時募集しています！

お問い合わせはまちづくりセンター迄



ふるさと笠縫かるた販売中！ 問 まちづくりセンター



文：故堀田豊彦氏（要約掲載しました）
絵：故井野博氏

松原中学校のいわれ
昭和十七年頃に創立の青年学校が前身です。青年学校の時は、池の名前が付けられ、弾正青年学校と呼ばれていました。その後、地名の松原と名付けられ、松原中学校として昭和二十二年春より創立となりました。
弾正池を掘った土が高く盛り上げられ高山と呼んでいました。この高山を開拓して建設された中学校です。当時の開拓は、多数の人たちによって開拓されただけに、意味深い土地でもあり、私にとっても、思い出深いものです。
この時代には、まだ校舎の周辺は、松林も多く残り、キツネが多く住んでおり、私どももよくキツネを追っかけて遊んだこともありました。

◆笠縫紀行◆
第十二回 松原・弾正公園 その2

だんじょうこうえん

地域トピック

やまびこ上笠教室が開設されました

「やまびこ教室」は、学校に行きにくい状態にある子どもたちが学校復帰や社会的自立をめざしてさまざまな活動に取り組む場所です。これまでの「青地教室」のほかに5月1日から「上笠教室」が新たに開設されました。

場所／JAレーク滋賀 笠縫支店2階
問合せ先／QRコードより参照ください



やまびこ教室
詳細は
コチラ！

まちかどフォト



笠縫小学校の「あおばな」栽培 5月12日

恒例のあおばなの苗植えが、笠縫小学校の学習畑で行われました。

市内で唯一栽培する中川正雄さん(93歳)から、あおばなの用途や、栽培の苦労話などを聞きその後、小学3年の児童たちが苗を植えました。7月ごろからは、花が咲きだします。



ロビーコンサートでほっこりかさぬいカフェ開店

4月27日(木)自主教室「ギター愛好会」が、まちづくりセンターでロビーコンサートを行いました。同時にかさぬいカフェも開催しました。「この広い野原いっぱい」「結婚しようよ」など懐かしい曲が演奏され、参加者で合唱しました。



※かさぬいカフェの開催日は、まち協公式LINEアカウントで随時お知らせします。

離乳食レストラン

主催／笠縫学区健康推進員
場所／笠縫まちづくりセンター

5月24日
(水)

離乳食と食育に関する情報交換の場に13組の親子が参加しました。市保健師の座学の後、健康推進員による離乳食(初期、中期、5倍がゆ・7倍がゆ等)の調理実習の見学を行いました。



今年度は、新型コロナで中止していた離乳食の試食も行い、舌ざわりや味付けなどを確認しました。質疑応答も活発で、終了後も保健師に熱心に質問されていました。



包丁研ぎボランティア

5月27日(土)

主催：笠縫学区民生委員児童委員協議会
場所／笠縫まちづくりセンター

7年目を迎えたこの活動も、地域の皆様に温かく見守っていただいています。受付開始時には多くの方が訪れ、先輩委員の皆様にも協力いただき、笠縫小学校調理室の21本含め145本の包丁を研がせていただきました。

次回はひとり住まいの高齢者を対象に10月に行う予定です。この活動が少しでも地域の「輪」作りに貢献出来ればと思っています。



編集後記

今月号から表紙「リーフかさぬい」のタイトル下の言葉が変わったことに気付かれませんか?『みんなが主役 いきいきつながるまち 笠縫』。定期総会で承認された「第2次笠縫学区まちづくり計画」で新たに策定されたまちの将来像です。これを具現化する計画も含め、この思いが広がるように願います。(O.K)